

自己点検・評価シート

平成24年度 第9次鳥取市総合計画

整理No.	1-(1)-②	事務事業名	小学校外国語活動人材支援事業	所属名	教育委員会事務局 学校教育課
-------	---------	-------	----------------	-----	----------------

1. 基本情報

総合 位置 づけ 計画 の	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	01	次代を築き担う、たくましい子どもを育む
	施策	1102	教育の充実

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校の外国語活動
意図 (どのような状態にするために)	外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地の育成を図る。
手段 (どうするのか)	小学校5・6年生の外国語活動の授業において、英語力のある地域人材を活用し、1学級あたり年間8時間分の指導援助を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

内容	年度別計画	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		人材派遣	人材派遣	人材派遣	各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介したりして、5・6年生1クラスあたり8時間分の外国語活動授業において指導の援助を行う	
事業費	年度別実績	39校で986回派遣した	39校で945回派遣した	38校で975回派遣した		
	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	3,927	3,882	3,930	2,720	
	直接経費 A	2,465	2,382	2,445	2,720	
	直接経費の財源内訳	国・県				
		地方債				
		その他				
職員数の内訳	一般財源	2,465	2,382	2,445	2,720	
	人件費 B	1,462	1,500	1,485		
	正規職員	0.20	0.20	0.20		
職員数の内訳	嘱託職員	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	0.00	0.00	0.00		

4. 平成23年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 事業の概要 小学校外国語活動のねらいであるコミュニケーション能力の素地の育成を図るために、外国語活動の授業を補助する地域人材を活用し、小学校の外国語活動の円滑な実施と充実した外国語活動の実践を行う。</p> <p>2 事業の成果 各学校が、自主的に地域の人材を依頼したり、鳥取市教育センターの人材バンクから紹介を受けたりして、5・6年生1クラスあたり、年間8時間分の外国語活動授業において指導の補助を行う。 38校 975回実施</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

	指標名	単位	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動指標 1	派遣回数	回	目標	1024	1064	1,144	1,088	
			実績	986	945	975		
2	(指標の説明) 小学校外国語活動への人材派遣回数		目標					
			実績					
(指標の説明)								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

	指標名	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
指標達成率 1	派遣回数	回		96%	89%	85%	
2							

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	5, 6年生を対象として、1クラスあたり年間8時間という回数は、授業補助としては適当であり、学習効果も見込まれる。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	児童の外国語に対する興味・関心が高まり、中学校外国語学習にスムーズに移行でき効果的である。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	ネイティティブ英語リッシュに触れることにより、中学校外国語学習への興味づけや学習意欲の向上を図ることができる。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各学校5, 6年生1クラスあたり年間8時間実施する。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> (1) 手段等の改善	<input type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持		
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> (1) 意図的に縮小	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少
	<input type="checkbox"/> 5. 休止・廃止・終了	<input type="checkbox"/> (1) 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了	
担当課等の評価コメント	小学校で新しく導入された外国語活動を中学校での外国語の学習に効果的につなぐためにも、地域の人材や留学生を活用した支援事業は効果的である。ネイティティブスピーカーに触れることにより、外国語や外国に対する興味・関心を高め、中学校での学習をより意欲的なものにすると大いに期待される。		
今後の課題・方向性	担任単独の授業に加えて、外国語に堪能な地域人材やネイティティブスピーカーとふれ合うことは、児童が外国語を通してコミュニケーション能力の素地を養うために大変効果的である。また、必要に応じて、外国語活動支援員の研修を行い、小学校外国語活動の趣旨に沿った指導力の向上を図っていくことが必要である。		

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	小学校高学年で外国人や外国語に接することは、生徒にとって貴重な体験となることは確かである。ただし、英語が分からず、だから頑張ろう。英語は難しい、だけど面白い。と思う生徒ばかりではないので、やり方によっては英語嫌いを助長する恐れもある。したがって、やり方については担任や依頼した人に任せきりにしないで、研修などによる方向付けが必要と考える。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	活動指標が漸減傾向にあることについて、日本人教員のスキルの向上が要因の一つとして指摘されていた。これが妥当であるならば、長期的には適切な時期に事業の性格や支援員の役割について見直しが行われるよう期待したい。
--------	---